Best Shot! フォトコレ in ひろさき

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします★

弘前城菊と紅葉まつり

10月18日～11月10日　弘前城植物園ほか（下白銀町）

華やかに色づいた紅葉を見るたくさんの人でにぎわった弘前公園。紅葉とともに、ねぷた絵とコラボレーションした菊人形や、菊舟、菊の鉢植えなどが飾られ、見る人の目を楽しませていました。

また、夜には公園内の紅葉がライトアップされ、昼とは違う幻想的な表情を見せていました。

ひろさきりんごハロウィン

10月20日　ヒロロ・駅前公園（駅前町）ほか

りんごの収穫を祝うりんごハロウィンが開催されました。魔女やアニメのキャラクターなど、思い思いの仮装で着飾ったたくさんの人が、仮装コンテストやパレードなどに参加しました。

おしごと体験広場キッズハローワーク

10月20日　弘前学院聖愛中学高等学校（原ケ平字山元）

小学生が、消防士や大工職人、パン職人などさまざまな職業や遊びを体験しました。実際に職人が使っている道具などを使った貴重な体験に、子どもたちは真剣な表情で臨んでいました。

2019 津軽の食と産業まつり

10月18日～20日　克雪トレーニングセンター(豊田2丁目)

弘前や津軽地域の「食」や「産業」とともに、友好都市の北海道斜里町や群馬県太田市の特産品が紹介・販売され、試食したり買い求めたりする多くの人でにぎわいました。

弥生いこいの広場の閉園感謝祭

11月10日　弥生いこいの広場（百沢字東岩木山）

木の実の工作や餅つき体験、動物さんのもぐもぐ体験などが行われ、たくさんの親子連れが楽しい時間を過ごしました。弥生いこいの広場は来年の春まで閉園します。

学生企画コーナー

ひろ♡レポとは…若者目線で弘前のことを伝えようと発足した、本コーナーを担当する大学生グループです。

もっともっと♥弘前！

reported by ひろ♡レポ Hirosaki ♡ Reporters

今月のテーマ♥　**弘前で活動している学生委員会「いしてまい」を紹介します！**

こんにちは！ひろレポです。今回は学生委員会「いしてまい」を取材しました！
「いしてまい」という名前は、津軽弁の「良すぎて仕方がない」という言葉にちなんでいます。

学生委員会「いしてまい」ってナニ？

いしてまいとは、市内の６つの大学（弘前大学、弘前学院大学、東北女子大学、東北女子短期大学、弘前医療福祉大学、放送大学青森学習センター）から構成される「大学コンソーシアム学都ひろさき」の学生委員会で、現在は９人で活動しています。

「弘前を活性化させたい」という意思を持つ学生が大学の壁を超えて集まり、学生だからこそ見える弘前の課題を発見し解決するため、新しい企画作りに励み、実践しています！

活動について聞きました

弘前市と連携して衣類回収ボックスを設置しました

弘前の地域課題について、弘前市職員の方と意見交換をしていたところ、市のごみ排出量の多さと、リサイクル率の低さを知りました。いしてまいとしてこの課題に取り組みたいと考え、ごみの削減とリサイクルが両立できる「衣類回収ボックス」を弘前学院大学１号館学生ラウンジ玄関〈10月１日～９日〉と弘前大学大学会館１階シェリア前〈10月10日～18日〉の２カ所に設置しました。

学生を中心にチラシを配布したほか、弘前学院大学では先生にも協力してもらい、授業中にいしてまいが PR させてもらうなど、学生ならではの運動を行った結果、設置した次の日には衣類回収ボックスがいっぱいになり、期間中（18日間）で総重量 250kg の衣類を回収することができました。

衣類回収ボックスを利用した学生からは、「ごみ問題を身近に感じた」「意識が変わった」という声が多く聞かれました。私たちは、これからもこのような活動を続け、広めていきたいと思います！

～「いしてまい」からのメッセージ～

代表　金ヶ崎七虹（かねがさき ななこ）さん

衣類回収ボックスの取り組みで、ごみの排出量とリサイクルについての課題を学生中心に広めることができてよかったです。これからも弘前に貢献し、隠れた魅力も発信していけたらいいなと思っています！

メンバー募集中！！

いしてまいは、一緒に弘前を盛り上げたい、地域に貢献したい学生を募集中です。興味のある方は、Twitter で「いしてまい」と検索、または下記 QR コードでアクセス！

編集後記

弘前の課題について一生懸命取り組んでいる姿勢が素晴らしかったです。弘前を盛り上げたいという同じ目標を持つグループとして、ひろレポも頑張っていきたいと思いました！